

9月6日(金)に、杉谷義和教諭による道徳科の提案授業が1年生と4年生で行われました。1年生は、教材「はしの上のおおかみ」で親切について話合いました。親切の素晴らしさを知る前と後のおおかみを比較することを通して、温かい心で接し親切にすることは、相手が気持ちよくなるだけでなく、自分もまた気持ちよくなるものだという事に気づく子供が見られました。また、「役割演技」を通して、親切の大切さを実感し、思わず笑顔になる子供もいました。学習の最後には、「親切をすると親切をした相手からまた違う人へと広がっていくんだ。」と親切のよさを発表する子供も見られました。



1年生の授業の様子

4年生は、教材「ぼくはMVP」で正直であることについて話合いました。「うそをついたもやもやの気持ちでいることは、自分に正直でない。正直にすっきり生活したい。」「人が悲しんだり残念がったりしてしまうことが考えられる場合は、うそをついたことを黙っておくかもしれない。」「大きな行事や大人数の前でついでしまったうそを正直に話すことは今の自分にはできない。」など、正直に対する考えや今の自分と向き合った考えがたくさん出ました。多様な意見にふれたり自分との関わりで考えたりできるように「名前カード」と「心のものさし」を活用するなど、しかけのある授業でした。



4年生の授業の様子

この度の公開授業には、附属中学校、附属特別支援学校、公立小学校の先生方や教育実習生も参加し、多くの学びが得られた研究授業となりました。



坂本哲彦 先生によるご講演

公開授業後には、道徳科の学習指導要領解説編の編纂者であり、本校の道徳科の共同研究者でもある坂本哲彦先生にご講演していただきました。山口県の上郷小学校の校長先生であり、現在も週1回のペースで道徳授業をされる実践家でもあります。講演では、子供の成長を願うプラス思考の学習内容の必要性や、学習のねらい・内容・発問を焦点化させることで、授業が一層具体化することなど、授業づくりにおいて多くの御示唆を頂きました。来年、応用実習で道徳授業を実践する実習生にとっても、貴重な時間となったようです。

10月26日(土)の研究発表大会に向けて、研究グループで授業案(研究してきたものの提案)の検討会を行いました。研究の柱である各教科・領域特有の「学びのプロセス」を研究の評価とともに、どのように発信していくのか議論を重ねています。



9月の研究日の様子

研究発表大会は、令和元年10月26日(土)です。
お申し込み〆切は10月11日(金)です。